

平成29年度の事業をお知らせします

【総務費】

- 複合庁舎建設計画策定事業 981万円
複合庁舎建設基本計画策定などに係る経費
- 地方創生事業 1億680万円
再生可能エネルギーの利活用推進、まちなか再生など地方創生に係る経費

【民生費】

- 障害者総合支援事業経費 2億3,830万円
障害福祉サービス利用、更生医療などの給付費に係る経費
- 子ども・子育て支援事業 1億2,849万円
認定子ども園運営の補助、子育て支援センター事業に係る経費

【衛生費】

- 地域医療維持助成事業 1億4,000万円
住民の健康を守る地域医療維持のため津別病院へ助成する経費
- 一般廃棄物最終処分場施設整備事業 3,898万円
一般廃棄物最終処分場施設建設の調査測量設計などに係る経費

【消防費】

- 事務組合負担金 2億6,444万円
美幌・津別広域事務組合（津別消防署）への負担金などに係る経費



認定子ども園



津別病院

【農林業費】

- 国営農地再編整備事業推進事業 7,735万円
国営農地再編換地業務などに係る経費
- 町有林整備事業 6,407万円
施業計画に基づく造林・保育事業等の実施に係る経費
- 木材工芸館整備事業 847万円
木材工芸館等改修基本・実施設計業務に係る経費

【商工費】

- 商工振興補助費等 3,350万円
起業等振興促進補助などに係る経費

【土木費】

- 町道整備事業 5,538万円
町道138号線改良舗装工事などに係る経費
- 橋梁長寿命化修繕事業 7,500万円
橋梁長寿命化のための点検、補修工事などに係る経費

【教育費】

- 津別高校振興対策事業 3,122万円
津別高校振興対策（バス通学費、制服購入に係る補助）や公営塾運営業務に係る経費
- トレーニングセンター施設整備事業 5,213万円
トレーニング室増築工事などに係る経費



木材工芸館



津別高校

平成29年度 町政方針（抜粋）

『まちをロマンチックな エコタウンに：3年目』

3月10日から始まった定例町議会において、平成29年度予算の審議が行われました。議会開会の冒頭で佐藤町長から予算提案にあたり町政方針が示されましたので、その一部を紹介いたします（町政方針の全文は町のホームページに掲載しています）。

公約の推進

第1次産業の振興につきましては、本町の基幹産業である農業において、国営農地再編整備事業が実施地区となり、昨年度より工事が始まりました。この事業は平成36年度までの長期に及び、支払はすべて完了後に一括払いとなるため、地元負担のうち町が支援する分について、本年度も「事業負担金支払基金」に所要額の積立を行って参ります。

林業につきましては、森林バイオマスなどによる再生可能エネルギーを活用した「低炭素・循環・自然共生」を柱に、資源循環型のまちづくりを引き続き進めて参ります。また、森林認証や、加工・流通過程の管理認証の取得に対する助成を継続し、愛林のまちつべつにふさわしい林業の振興を図って参ります。

少子化・高齢化社会への対応につきましては、認定子ども園の利用料等を引き続き軽減し、子育てを支援するともに、子どもや高齢者が楽しめる場として、木

材工芸館を含む自然運動公園一帯のリニューアルを年次計画で進めて参ります。中心市街地の活性化につきましては、本年度も筑波大学との共同研究を進め、専門性を持つコンサル会社も加えながら、次世代の担い手とともに持続可能なコンパクトでロマンチックなまちなか再生計画を策定するとともに、昨年度認定された地域再生計画に基づく、地方創生推進交付金事業を推進して参ります。

老朽化したインフラの再整備につきましては、計画に基づき実施している道路・橋梁の改修を引き続き進めるとともに、給水人口の減少により上水道事業と簡易水道事業を統合し、新たに簡易水道事業として施設の更新を計画的に進めて参ります。住宅建設につきましては、相生地区に町営住宅2戸を新規に整備するとともに、引き続き適切な維持管理を行って参ります。

庁舎を含む複合施設の建設につきましては、昨年度に庁内検討委員会がまとめた「津別町役場庁舎建設構想（案）」を参

考にしなから、今年度は、複合施設建設を含む中心市街地全体の未来像を描くこととし、「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」の策定を進めて参ります。この計画の策定にあたりましては、老若男女様々な団体からの希望を組み入れますとともに、住民説明会で内容の説明を行って参ります。

地域振興

人づくりの推進につきましては、人づくり・まちづくり活動支援事業により、町民の自主的活動を支援しますとともに、引き続き筑波大学との高大連携事業やまちなか再生事業、さらに地方創生事業に関連する派遣事業や交流事業を通し、まちづくりの基盤となる人づくりを進めて参ります。

観光事業の充実につきましては、観光協会をはじめとする関係団体と連携し、さらなる誘客活動やイベント等への支援を行うとともに、観光協会の主体強化に向けた支援を行って参ります。また、本町の林産業及び観光のシンボリックな存在であります木材工芸館周辺のリニューアル設計を行い、子どもや高齢者が楽しめる施設として充実させるとともに、観光ルートの特長としての役割も担えるよう検討して参ります。

また、道道屈斜路津別線における弟子屈側の土砂崩れ箇所を早期復旧につきましては、津別峠雲海ツアーや周辺観光への誘客に不可欠であるため、引き続き林野庁と北海道に対し要請して参ります。

行政改革と機構改革

平成22年3月に策定しました「津別町新行政改革大綱推進計画（改訂版）（平成22年度～31年度）」は、後期5年計画の3年目を迎えたところですが、引き続き地域経済の活性化と持続可能な行政経営を図る計画として推進して参ります。アクションプランに掲げる行政評価制度の導入に関しましては、今年度は事務事業総体の検証に取り組んで参ります。

平成29年度予算編成

平成29年度の予算は、「津別町第5次総合計画（平成22年度～平成31年度）」と地方創生事業に関する「津別町人口ビジョン」及び「津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき編成したものであります。

中でも、「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」の策定は、津別町の未来計画となるものであり、策定にあたっては4月1日より担当部署を新設し、町民の皆様との意見交換を含めながら進めて参ります。また、地方創生推進交付金事業として、「共生のまちづくり」「空き家・空き店舗の利活用」「人材育成・特産品開発」などを実施することとしており、人口減少に一喜一憂しない確かな取り組みを進めて参る考えであります。

今年度も職員と一丸となり、町づくりに取り組んで参りますこととお誓いし、平成29年度の町政方針とさせていただきます。